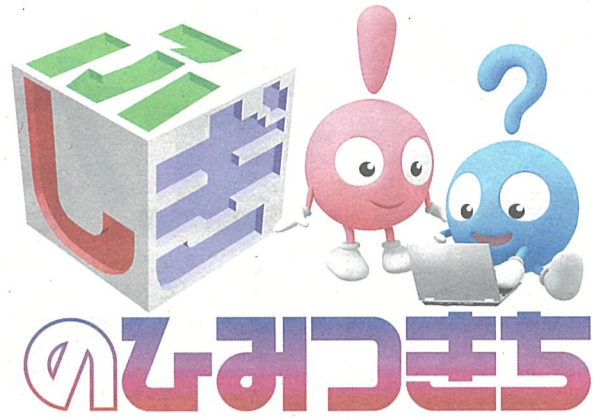


今回のテーマ

# 学校でも飼っているあの魚



No.067

世界に広く分布するメダカたち。日本のメダカはどこからやってきたのでしょうか。

メダカは日本ではとても身近な存在として知られています。小学校の理科では、オスとメスの違いや卵の成長を観察します。海外でも「medaka」で通じることがあるくらい、日本を代表する魚の一つです。でも野生のメダカの生息地は、インドから日本にかけての広い範囲なんです。そんなメダカ、日本には、いったい何種類くらいいるのでしょうか？

## ◇「キタ」と「ミナミ」

日本の野生のメダカは、ずっと1種類だと考えられていました。でも、今では「ミナミメダカ」と「キタノメダカ」の2種類いることがわかっています。キタノメダカは兵庫県から青森県までの日本海側に、ミナミメダカは太平洋側や兵庫県より西にすんでいます。東北地方にある奥羽山脈などが約500万年前にでき、地域の間で移動ができなくなって2種類に分かれたと考えられています。



メダカの先祖が誕生した頃、インドは大陸から離れてたんだ！

日本列島は昔大陸につながっていたんだよ

ところで、野生メダカの体の色って知っていますか？野生のメダカは黒っぽいんです。一方、黒色を作れなくなって体がオレンジ色になった野生メダカを、ヒメダカとよびます。昔から、見て楽しむ観賞用として飼われていました。現代では、いろいろな体の色の観賞用メダカがいます。これらは、もともと自然の川や池にいる種類ではない



キタノメダカ

日本にきたメダカは山脈をはさんでふたつの種類に分かれたんだね



ミナミメダカ



江戸時代の書物に白メダカとヒメダカが描かれてるなんてビックリ!

「梅園魚譜」毛利梅園(1835年)より抜粋 国立国会図書館デジタルコレクションより



ので、決して放流しないように気をつけましょう。

## ◇祖先はインドから

メダカの仲間はインドから日本にかけて生息しており、現在40種類見つかっています。インドネシアのスラウェシ島はメダカの宝庫で、23種類ものメダカが発見されました。青色が鮮やかなメダカや真っ黒なメダカな

ど、とっても個性豊かです。これらのメダカの祖先は、約7400万年前に、まだユーラシア大陸とくっついていなかった「インド亜大陸」で誕生したと推定されています。その後、メダカの祖先は、ユーラシア大陸を東の方へとひろがっていきました。日本のメダカは長い年月をかけてインドからやってきたと考えられています。

今日の先生



清水勇氣さん

「生物学の博士です。小学生時代から本好きで、科学や歴史など、興味ある分野は幅広く読んでいました」

産業技術総合研究所(産総研)バイオメディカル研究部門。専門は分子生物学。出身小学校は京都府福知山市立樟明小。

## さんそうけんって？

日本で最大級の公的研究機関なんだ。茨城県つくば市など、全国12か所の研究拠点があって、日本の産業や社会に役立つ技術について研究を進めているよ。

キッズむけウェブページはこちら → (さんそうけんサイエンスタウン)



無断転載・複写禁止(株)毎日新聞社